

メッシュバスケットワゴン

ロッシーニ【アラベスク】【モザイク】2段

品番：ROW-F2A/ROW-F2M 共通説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永くご使用下さい。

①注意事項

- 危険ですので、ワゴン以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所でのご使用は控えて下さい。
変形・変色の恐れがございます。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特に
ご注意下さい。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立てして
下さい。
- ご使用中にゆりみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に締め直
して下さい。

ROSSINI メッシュバスケットワゴン【アラベスク】【モザイク】2段 (ROW-F2A, ROW-F2M)

品質表示

- ※外形寸法：約 幅450mm×奥行365mm×高さ500mm
※表面材：(天板)パインの天然木【ROW-F2A、ROW-F2M(BK)】
杉の天然木【ROW-F2M(WH)】
中質繊維板【ROW-F2Mのみ】
(脚部・バスケット)スチール
※表面加工：(天板)ラッカー塗装【ROW-F2A、ROW-F2M(WH)】
植物性オイル塗装【ROW-F2M(BK)】
(脚部・バスケット)エポキシ粉体塗装

取扱上の注意




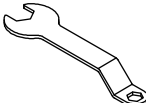


1. 湿気の多い場所でのご使用はお避け下さい。
2. ご使用の際は、水平に保つようにして下さい。
3. 直射日光またはストーブなどの熱はお避け下さい。
4. 加熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないで下さい。
5. 腰掛けたり上には乗らないで下さい。

表示者：株式会社B.Bファニッシング
大阪府堺市東区丈六171-37 ユニマニシビル2F
TEL：072-230-3334

MADE IN CHINA

組立説明書 ※プラスドライバーをご用意ください。

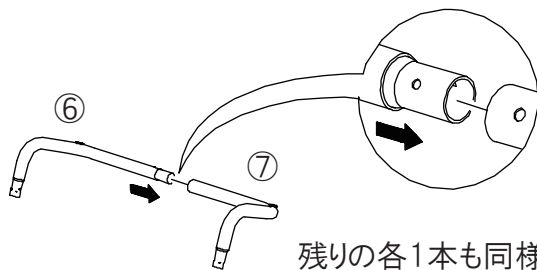
部材			※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認ください。		
①バスケット(上段用)		②バスケット(下段用)	③天板		
バスケット(上)は 天板のストッパー が付いています					
			1枚		
1個		1個	④鉄片		
			4枚		
⑤パイプ		⑥曲げパイプA	⑦曲げパイプB		
2本		2本	2本		

部品		※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認ください。	
A:ボルト(長)	B:ナット	C:ボルト(短)	D:スパナ
			
4本+予備1本	4本+予備1本	6本+予備2本	1本
E:キャスター	F:天板のがたつき止め		
			
4 個	4個		

1

組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、お願い致します。

⑥曲げパイプAと⑦曲げパイプBを、下記のイラストの様に、挿し込んで下さい。

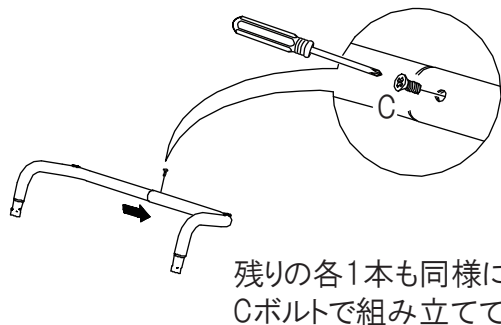


残りの各1本も同様に
差し込んで下さい。

2

①で組立てたパイプに、ボルト穴が開いていますので、その穴に、Cボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

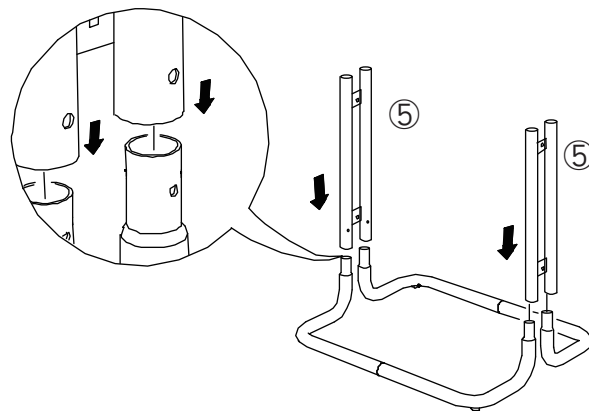


残りの各1本も同様に
Cボルトで組み立てて下さい。

3

②で組立てた物を、下記のイラストの様に上に向けて下さい。次に、⑤パイプを下記のイラストの様に挿し込んで下さい。

※⑤パイプにボルト穴が開いています。この穴は内側に向けて取付けて下さい。

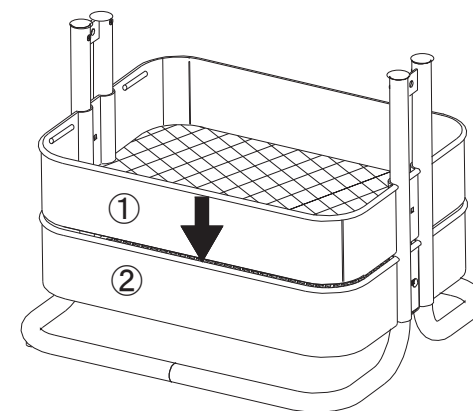


5

②で組立てた物を、下記のイラストの様に、②バスケット(下段用)と、①バスケット(上段用)の順番で入れて下さい。

注意!

※上記のバスケットを入れる作業の時に、④で仮止めにしていたCボルトのボルト頭が、バスケットの底とぶつかりあう場合がございます。その場合は、④で仮止めしてある、Cボルトをもう少し締めて調整をしてから、再度バスケットを入れてみてください。

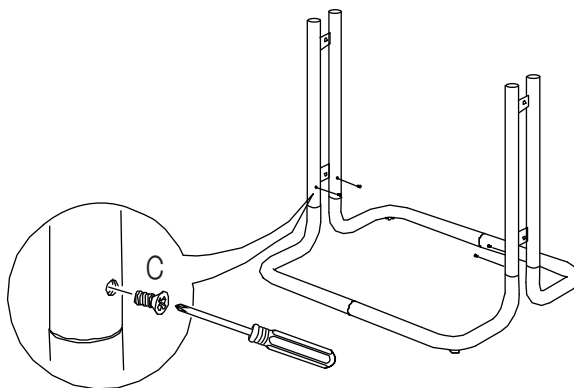


4

③で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。
このCボルトを最後までしっかり締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性があります。
このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。



6

⑤で組立てたものを、下記イラストの様に、横に転倒して下さい。次に、⑤パイプの横バーに開いている穴に、下記のイラストを参考にして、④鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でぐるぐると回すようにして止めて下さい。

注意!

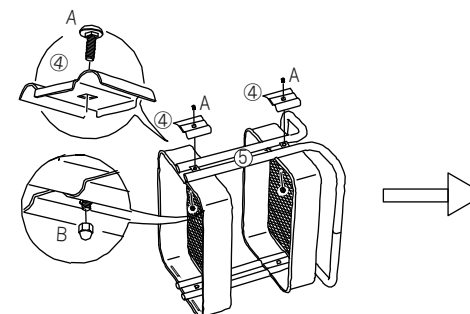
⑤パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

注意!

バスケットの組立てる順番ですが、最初に上部バスケットを取り付けてから、次に下部バスケットを取付けるようにして下さい。

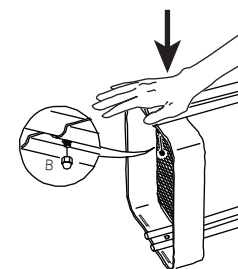
注意!

Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止められる程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ!

下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押さえて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



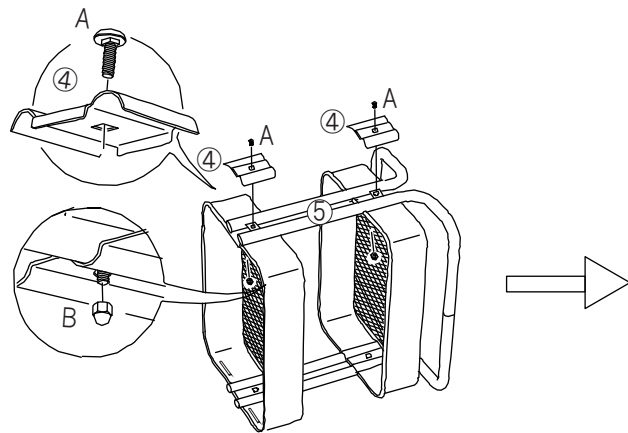
7

6 で組立てた物を、反対側に裏返して、次に⑤パイプの横バーに開いている穴に、下記のイラストを参考にして、④鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通して、バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すようにして止めて下さい。

注意! ⑤パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

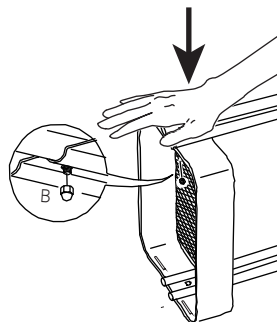
注意! バスケットの組立てる順番ですが、最初に上部バスケットを取り付けてから、次に下部バスケットを取付けるようにして下さい。

注意! Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止めれる程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ!

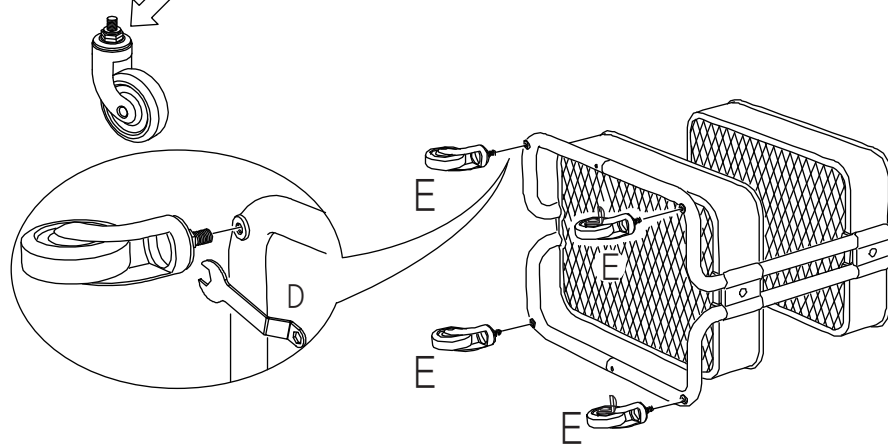
下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押さえて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



8

7 で組立てた物の裏側に、下記のイラストの様にEキャスターをDスパナを使用して、取付けて下さい。

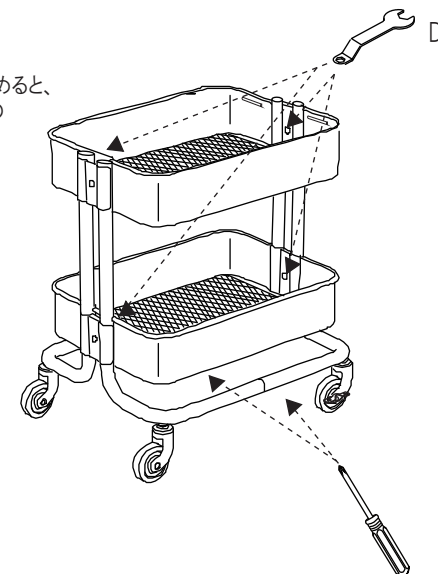
※E,Fキャスターのナット が1番下まで締め
てあるか確認してから 取付けて下さい。



9

8 で組立てた物を起こして下さい。次に下記のイラストの様に、2 で仮止めに
なっていた、Cボルト(短)をドライバーを使用して最後まで締めて下さい。
力いっぱい締めずに、ある程度固くなればOKです。
次に、6 と 7 で仮止めになっていた、Aボルト(長)を、Dスパナを使用して
最後まで締めて下さい。

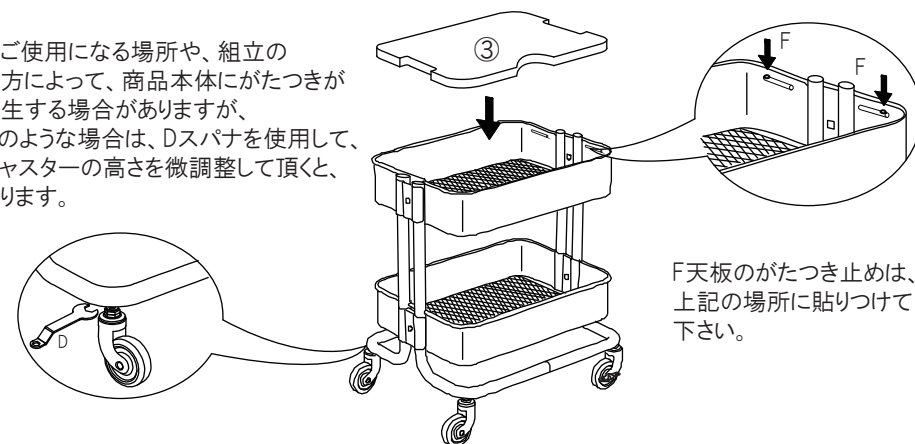
注意! Aボルト(長)は、Dスパナを使って力いっぱい締めると、
ボルトを締める力の方が強いので、バスケットの
鉄板が歪んでしまう可能性があるため、
力いっぱい締めずに、ある程度固くなって、
バスケットが前後にがたがたしない程度で
止めて下さい。



10

9 で組立てた物の、上部バスケットの左右に天板止めのストッパーが溶接されている
ので、そのストッパーの上に、F天板のがたつき止めを貼りつけて下さい。
次に、上部バスケットに③天板を乗せるようにしておいてください。
これで完成です。

※ご使用になる場所や、組立の
仕方によって、商品本体にがたつきが
発生場合がありますが、
そのような場合は、Dスパナを使用して、
キャスターの高さを微調整して頂くと、
直ります。



F天板のがたつき止めは、
上記の場所に貼りつけて
下さい。